

Poster Presentation

## [PS02] ポスター発表(学生 B:コアタイム1)

Sat. Mar 30, 2024 11:30 AM - 12:30 PM Sakura (Student) (Sakura)

### [PS02-73] 圃場における昆虫叢の定量的解析を目指した、DNAメタバーコーディング手法の開発

○Shunta Nishibe<sup>1</sup>, Shunsuke Fujita<sup>2,3</sup>, Akiko Fujiwara<sup>2</sup>, Tsutomu Tsuchida<sup>4</sup> (1. Grad. Sch., Univ. Toyama, 2. GUCFW, 3. Grad. Sch., Gunma Univ, 4. Acad. Assembly Univ. Toyama)

安定的な食糧生産には害虫防除が重要な課題である。効果的かつ持続可能な防除体系の構築には、害虫の発生状況や防除による昆虫叢への影響の確認が不可欠である。従来、昆虫叢のモニタリングには、粘着トラップ等で回収したサンプルの目視による種同定や、種ごとの個体数計数が必要であった。これは熟練を要し、かつ極めて労力のかかる作業である。

近年、生物種の網羅的な同定には、DNAメタバーコーディング解析が利用されている。本法は、様々な生物種が混ざった状態のサンプルから、特定の遺伝子配列を解析し、データベースに照合することで、サンプルに含まれる生物種を網羅的に特定する手法である。本法では、目視では判別困難な微小昆虫も含め、種レベルでの判別が可能であるため、圃場に生息する昆虫叢の評価には有用である。一方、DNAメタバーコーディングには、サンプルごとに解析される配列数が、DNA抽出効率やPCR増幅効率に大きく影響を受けるため、定量的な評価が困難という問題がある。そこで本研究では、DNAメタバーコーディング手法を改良し、圃場に生息する昆虫種ごとのバイオマスを定量的に検出する手法の開発を試みた。本会では現在までの進捗状況を報告する。